



JAPAN  
MARROW  
DONOR  
PROGRAM

## 安全情報

2004 年 1 月 27 日

(財) 骨髄移植推進財団  
認定施設採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団  
ドナー安全委員会

### 骨髄採取後、肺脂肪塞栓症が疑われた事例(調査報告)

昨年 8 月 18 日付で標記内容にて通知しました事例について、調査が終了しましたのでご報告いたします。

今後、同様事例が発生することが否定できないため、再発防止の観点から安全情報を配信いたしました。( 前回通知文書を参考として添付致しましたので、ご確認ください。)

#### < 結論 >

本事例について検討を重ねた結果、原因は特定できませんでした。

#### < 調査結果等 >

肺脂肪塞栓症の診断を肯定する所見として、咳と血痰(泡沫状・新鮮血) 胸部 X-P の陰影、CT 画像、O<sub>2</sub> SAT の低下が認められましたが、その一方で、臨床経過(時間経過)があわず(所見が発症から 2 時間程度で早すぎる) 血液や尿中に脂肪滴(脂肪球) 結膜、皮膚の点状出血、意識障害や呼吸障害の症状などは認められませんでした。

鑑別診断として他に疑われる病態は、サイトカイン過剰産生による ARDS、肺泡出血、神経原性(ニューロジェニック)が考えられましたが、結論には至りませんでした。

#### < 対策 >

今回の事例は極めて稀な合併症と考えられますが、骨髄採取後、酸素飽和度の低下が持続的に認められた場合には、胸部 X-P 写真、肺 CT 写真、MRI、肺シンチ、血流スキャンなどを実施していただきますようお願いいたします。

更に、安全性確保の観点から必要に応じて気管支肺胞洗浄もご検討ください。

以上ご報告申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団  
ドナー安全委員会  
(事務局 担当:折原)  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町 3-19  
廣瀬第2ビル 7 階  
TEL 03-5280-2200  
FAX 03-5283-5629  
E-mail:orihara@jmdp.or.jp